令和２年度　ヘルシーワークプレイス推進委員会　活動報告

■委員名	委 員 長：井上眞由美 副委員長：宮原明美 委　　員：阿波栄子・池澤加代子・尾崎淳子・肥塚喜子・竹内悦子・鳥海晃司・橋本弘子・馬場敦子・濱田啓子・前田志眞子・村上直美・大迫しのぶ・中野奈保子
■開催回数	6 回
■活動目標	１．ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営を行う。 ２．その他、委員会の目的達成に必要な事項を検討する。
■活動内容	１．ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営を行う。 １）施設のヘルシーワークプレイスの現状についての情報収集 ・平成 30 年度看護職員需要・離職調査報告書により、県内の施設のヘルシーワークプレイスの状況について情報収集を実施した。 ２）勤務環境改善推進に取り組む施設の支援 （1）令和 2 年度医療従事者のインデックス調査の助成及び支援 WLB に継続して取り組んでいる 5 施設に対して、兵庫県看護協会から医療従事者の WLB インデックス調査の助成があり、令和 3 年 1 月に調査を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症への対応で医療現場が疲弊している現状から、今年度の実施は見送った。 （2）ヘルシーワークプレイス推進研修を開催 2019 年度医療従事者の WLB インデックス調査を実施した 2 施設の WLB 推進の取り組みに関する発表と併せてレジリエンスを高める講演を Web で開催した。 テーマ：「今こそお互いを尊重し協力しあおう～コロナに負けないひょうごの看護職の底力～」 日　時：令和 3 年 3 月 6 日 14：30～16：30 対象者：看護管理者及び看護職、他（会員・非会員） 発表施設：神戸徳洲会病院、医療法人川崎病院 講演テーマ：「レジリエンスを高めて元気になろう！」 講　師：ひょうご仕事と生活センター外部相談員、有限会社 OFFICE　HARMO 喜田菜穂子　氏 参加者：65 名 ３）関係機関との連携を実施 兵庫県看護協会ナースセンター、兵庫県看護協会各支部の他、本委員会の外部委員を通じて、兵庫県健康福祉部健康局医務課、兵庫県労働局雇用・環境・均等部指導課、兵庫県社会保険労務士会、ひょうご仕事と生活センター等、兵庫県内の関係機関と連携し、様々な観点からの情報交換及び議論を踏まえて活動を実施した。

活動の評価	1．ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営を行う。 1）県内の施設のヘルシーワークプレイスの現状を知るための情報収集の手段として、既存のデータである平成30年度看護職員需要・離職調査報告書を利用したが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きいことを考慮し、併せて各支部委員の施設の状況を聞き取り情報収集した。施設によっても問題は多様であり、どの部分に焦点をあてていくかは今後の課題である。 2）勤務環境改善推進に取り組む施設の支援 （1）医療従事者のインデックス調査の助成及び支援については、3年間は継続して実施する予定である。今年度については新型コロナウイルス感染症への対応で医療現場が疲弊している現状から、時期として適切ではないと判断し実施は見送ったが、今後も新型コロナウイルス感染症の影響は続くものと考える。調査内容の検討も含め、施設にとって適切な時期に実施を計画したいと考える。 （2）2019年度医療従事者のWLBインデックス調査を実施した2施設について、勤務環境改善に関する報告会をヘルシーワークプレイス推進研修と併せて開催した。客観的データの評価に基づいてWLB推進に取り組んだ報告は他施設のWLB推進の参考になる内容であった。今回未報告の1施設については、報告の機会を設定していく予定である。また、インデックス調査に関連した施設への支援が、どのような影響を与えたかを調査・分析することで、今後よりよい支援が可能になると考える。 （3）コロナ禍にあっても、互いを尊重し支え合ってヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を実現していこうとする活力を得ることができることを目的にレジリエンスを高める研修を実施した。Web研修とし65人が参加し、受講者からは「参加してよかった」、「新たな気づきがあった」との高評価が得られ、時期に適応した内容であった。 3）関係機関との連携を実施 （1）ヘルシーワークプレイス推進研修では、ひょうご仕事と生活センターの支援を受け、外部相談員である講師を紹介・派遣していただいた。 （2）当委員会構成員は兵庫県内の関係機関から構成されており、様々な観点からの勤務環境改善及びヘルシーワークプレイス推進に関する情報や意見を得ることができている。
■今後の課題	・2019年度看護職員需要・離職調査報告から、委員会としてヘルシーワークプレイス推進のための企画を見出す。